

令和 6 年度

事業報告書

一般財団法人 岩手済生医会

令和6年度 事業報告

1. 法人の概要

- (1) 名 称 一般財団法人 岩手済生医会
- (2) 所在地 岩手県盛岡市長田町 24 番 7 号
- (3) 法人の設立年月日 大正 9 年 5 月 15 日（平成 24 年 4 月 1 日 一般財団法人移行）
- (4) 役員及び評議員 （令和 7 年 3 月末現在）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
理事長	三 田 ひろみ	評議員	佐々木 和 彦
理 事	三 田 光 男	評議員	臼 井 康 雄
理 事	三 田 義 之	評議員	三 浦 廣 行
理 事	渡 辺 正 和	評議員	長 山 洋
理 事	大 塚 耕太郎		
理 事	及 川 吏智子		
監 事	攝 待 幸 子		
監 事	高 橋 俊 雄		

2. 法人が設置する事業

- (1) 岩手看護専門学校（看護師養成 明治 30 年 4 月 開設）
本科 1 学年定員 40 名 3 年課程
所在地 盛岡市長田町 24 番 7 号
- (2) 岩手リハビリテーション学院（理学療法士・作業療法士養成 昭和 55 年 4 月 開設）
理学療法学科 1 学年定員 40 名 4 年課程
作業療法学科 1 学年定員 35 名 4 年課程
所在地 盛岡市長田町 15 番 16 号
- (3) 中津川病院（内科系病院 昭和 6 年 10 月「岩手サナトリウム」開設、昭和 61 年 11 月 名称変更）
病床数 51 床（うち地域包括ケア病床 32 床）
所在地 盛岡市下米内二丁目 4 番 12 号
- (4) 訪問看護ステーションなかつがわ（平成 29 年 11 月 開設）
所在地 盛岡市下米内二丁目 4 番 12 号
- (5) 居宅介護支援事業所なかつがわ（令和 2 年 6 月 開設）
所在地 盛岡市下米内二丁目 4 番 12 号
- (6) 三田記念病院（精神科病院 昭和 8 年 6 月「岩手保養院」開設、平成 24 年 4 月 名称変更）
病床数 262 床（急性期病床 51 床、認知症病床 45 床、精神一般病床 166 床）
所在地 盛岡市加賀野三丁目 14 番 1 号
- (7) こころの訪問看護ステーション三田（平成 30 年 4 月 開設）
所在地 盛岡市志家町 13 番 31 号
- (8) 加賀野の里（精神障害者グループホーム 平成 14 年 3 月 開設）
入所定員 20 名
所在地 盛岡市加賀野三丁目 14 番 10 号

3. 各施設の事業の概要

(1) 法人本部事務局

① 令和6年度決算総括

令和6年度は、法人全体で定年退職者が3名、普通退職者が23名と例年よりもかなり多かったが若年層の退職者であったことから「退職手当額」は約4,045万円の支給となった。

病院部門では、外来患者数についてはほぼ横ばい状況、入院患者数については大幅な減少となった。2病院とも病棟において新型コロナウイルス感染症に伴うクラスターが複数回発生したことから、入院退院の制限をせざるを得ない状況もあり、収支差額で中津川病院は約△6,938万円、三田記念病院は約△1億7,591万円となった。

岩手看護専門学校では新入生が定員割れしたことで学生数が減少し、約△3,204万円、岩手リハビリテーション学院でも新入生が理学療法学科・作業療法学科両学科とも定員割れしたものの、約+1億1,669万円となり、法人本部を含めた全体の当期収支差額合計は△1億5,833万9,035円となった。法人本部では、運営資金確保のため(株)岩手銀行より8月に900万円(9月に全額返済)借入、更に9月に7,000万円借入を行った。また、12月に賞与支払資金の一部としてアクリーティブ(株)のファクタリングサービス(診療報酬債権譲渡し早期に資金化するサービス)を利用し約2億6,700万円資金調達を行った。

② 各種報告

会計監査	令和6年5月24日
定例理事会	令和6年5月28日 開催
理事会書面決議	令和6年6月20日
理事会書面決議	令和6年8月30日
理事会書面決議	令和6年12月16日
定例理事会	令和7年3月11日 開催
定時評議員会	令和6年6月20日 開催
評議員会書面決議	令和6年12月18日
評議員会	令和7年3月19日 開催

(2) 岩手看護専門学校

項目	本科(看護師3年課程・全日制)
(I) 総括報告	① 事業目標：入学したい、入学させたい学校を目指し、卒業後看護師として採用したいと評価される学生を育てる。 ② 4月から12月まで、新型コロナ陽性者が15名・インフルエンザ陽性者が5名程度みられたが、陽性者発生時は注意喚起し拡大することはなかった。 また、接触者の学生は自宅で授業が受けられるようオンライン配信した。 ③ 国家試験対策として、3年生は業者の教材を利用し3回「総合試験」を実施した。 また、その他の模擬試験を多数実施し、終了後は試験問題の振り返りを個人・グループで行い知識習得の強化を図った。さらに、放課後成績不良者に対して教員が特別指導を行った。2年生においても、業者の教材を用いて知識習得の確認を行った。年度末にかけて基礎学力の確認テストを実施する予定である。1年生は、年2回「基礎学力テスト」を実施し知識定着の強化を図った。今年度、放課後学習は実施しなかったが、自主的に居残り学習を行う学生がみられた。国家試験対策委員会は、1度開催しただけで有効に活動できなかった。次年度の課題としたい。 ④ 広報委員会が中心となり、昨年度同様に式典(入学式、戴帽式、卒業式)及び学校紹

介等を HP 上で公開する、高校で開催された進路ガイダンスに多数参加するなど策定された広報活動計画に従い実施した。

- ⑤ 不要な印刷の削減や、ボイラーの使用を控えるなど経費節約に努めた。
- ⑥ 教務システムの円滑な運用や、Kintone* の導入によってさらなる業務の効率化を検討している。*Kintone：業務改善のためのクラウド型業務アプリケーションツール
- ⑦ 総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校制）など新しい入学試験を導入した。
- ⑧ 101 教室、トイレ、玄関の改修工事を行い、施設の充実化を図った。
（令和 6 年度岩手県看護師等養成所施設設備整備費補助金）
- ⑨ 昨年度と同様に「災害時マニュアル概要」を作成し、地域住民に提示を行った。
- ⑩ 学生教育充実のため教育用器材・教材の修繕及び更新を行った。

〈学生教育について〉

- ① 令和 4 年度入学生から、新カリキュラムで運営しているが、3 年経過したので全体的な見直しを行った。1 年次の教育計画が過密となっていることがわかり、次年度にむけて調整を行った。
- ② 各実習施設と打合せ会議を開き、学生指導について連携を図った。また、4 名の実習指導教員を配置し臨地実習の充実に努めた他、新たに実習施設を 1 か所承認申請し認められた。

〈学生確保に向けた活動〉

- ① 学校見学会 7 月 27 日 参加者 57 名 保護者 28 名
9 月 28 日 参加者 18 名 保護者 9 名
今年度は学生ボランティアを募り学生・教員の協同での実施とした。
今年度も参加者アンケートは出口で iPad 及びスマホでの回答とした。
参加者アンケートでは好印象の評価が多かった。
- ② 進路ガイダンス
 - ・メディアプラン 看護限定進学説明会 4 月 28 日 14 名
 - ・岩手県看護協会主催 進学セミナー
「看護の道」説明会 中学・高校教員対象 ZOOM 開催 5 月 29 日
看護職を目指す中学生・高校生の進学セミナー 奥州 8 月 9 日 13 名
同上 盛岡 8 月 7 日 20 名
 - ・キッズコーポレーション進路ガイダンス
盛岡白百合学園高等学校 6 月 14 日 2 名
不来方高等学校 2 月 3 日 4 名
 - ・みらいキャリア進路ガイダンス 岩手県立盛岡南高等学校 参加者 12 名 5 月 13 日
岩手県立盛岡南高等学校 参加者 3 名 3 月 17 日
岩手県立不来方高等学校 参加者 4 名 2 月 17 日
 - ・ヘキサ 岩手県立花巻南高等学校 12 月 11 日 4 名
 - ・ライセンスアカデミー 岩手県立盛岡農業高等学校 2 月 20 日 2 名
 - ・さんぼう 医療系進路相談会 11 月 21 日（マリオス）2 名＋保護者 1 名
- ③ 職業講話会 盛岡市立大宮中学校 7 月 10 日
- ④ 学校訪問受け入れ
 - ・岩手女子高等学校 2, 3 年生 15 名 7 月 2 日

・久慈市立長内中学校（訪問受入） 参加者 4 名 6 月 27 日 ・花巻市立花巻中学校（訪問受入） 参加者 7 名 11 月 7 日
⑤ 高校訪問 6 月 10 日～7 月 3 日 18 校訪問（うち指定校 16 校） 岩手県内の高校 16 校、秋田県 2 校を訪問し学生募集を行った。R6 年度の応募数(71 名)に比べ、R7 年度は(68 名)と増加は見られなかったが高校の状況を把握することができた。 ⑥ ホームページの更新 広報委員会が中心となり、ホームページの活用について評価し適宜修正を行った。募集要項等の取り寄せは今年度より業者のサイトを中止し応募者数の検証を行うこととしたが受験生数に関しては優位の差は認められなかったことから次年度以降も HP を活用することとする。 ⑦ 情報誌掲載 ・メディアプラン 進学相談会 2024 参加 <u>学校・病院ガイドブック</u> ・岩手県看護協会 <u>看護職をめざすあなたのためのガイドブック 2024</u> 〈学生教育環境の改善に向けた活動〉 ① 昨年度の実習室・教室・学校全体の備品確認を踏まえ補充を行った。 ② 実習用ベットキャスターの劣化のためキャスター交換 10 台 ③ 図書室では、電子媒体（医中誌 Web、メディカルオンライン、最新看護索引 Web、系統別看護師国家試験問題 Web）の契約更新を行い利用に供している。 ・蔵書の図書システム（Egg-Web）への入力作業及び図書整理を行っている。 ・図書管理は継続して非常勤職員を採用し実施している。 ・令和 6 年度購入・寄贈図書（校費、同窓会・後援会寄付 235 冊） ・購入雑誌数（校費・同窓会・後援会寄付 51 誌） ④ 継続して臨床心理士（非常勤）を配置し月 1 回の心理相談を実施している。 また学生全員の心理テスト（UPI）を実施している。 ⑤ 臨地実習における教育の成果を向上させるため実習施設、実習指導者との連携を図った。 ⑥ 学生用電子カルテシステムのデモンストレーションを実施し次年度採用予定 〈学生の健康管理〉 ① 健康手帳の記載、健康チェック表に基づく健康管理を実施(1 回/月 以上) ② インフルエンザ予防接種の実施（中津川病院協力）11 月 20、27 日 ③ 1 年生小児抗体価検査の実施 4 月 8 日 ④ 校医による健康診断の実施 5 月 28 日 ⑤ レントゲン検査（予防医学協会）4 月 3 日 ⑥ 血液検査の実施（中津川病院協力）4 月 8 日 ⑦ UPI 心理検査 5 月 31 日 ⑧ 心理相談の実施 1 回/月実施 ⑨ 中津川病院から学生の健診、予防接種等で協力をいただき実施することができた。 心理相談では三田記念病院の協力をいただき、学生の精神面の支援をすることができた。

	⑩ 保護者会は入学式時のみ 1 回であるが、支援が必要と思われる学生の保護者とは、主に担当教員が連絡を取り情報の共有を行い連携に努めている。 〈教員のスキルアップに向けた活動〉 ① 岩手県看護協会主催「看護教員スキルアップ研修」に、教員全員が参加した。 ・ 5 月 25 日 授業力をアップさせるための「教え方の極意」 ・ 7 月 29 日 実践に活かすフィジカルアセスメント ・ 8 月 2 日 看護過程の適切な展開方法と根拠がある指導方法 ・ 8 月 7 日 学習者の可能性を引き出すかわり ・ 8 月 19 日 専門性発揮のための社会人基礎力を育てる。 ② 他施設見学 管理面での運営の参考にしたく「JA 福島厚生連白河総合病院附属高等看護学院」を見学した。(副校長・教務主任) その他研修会及び会議への参加 ・ 日本看護学校協議会 学校長及び総会 5 月 27 日～28 日 ・ 令和 6 年度副学校長・教務主任会 12 月 9 日 ・ 岩手県看護教員協議会情報交換委員会 10 月 18 日 ・ 岩手県看護教員協議会役員会 10 月 18 日 2 月 21 日 ・ 盛岡市地域共生社会推進フォーラム 1 月 27 日 ・ 日本看護学校協議会東北ブロック研修 8 月 9 日 オンライン ・ 令和 6 年度副学校長・教務主任会 12 月 9 日 ・ 岩手県看護教員協議会情報交換委員会 10 月 18 日 ・ 岩手県看護教員協議会役員会 10 月 18 日 2 月 21 日 ・ 盛岡市地域共生社会推進フォーラム 1 月 27 日 ・ 岩手県看護研究学会 10 月 28 日 3 年生 37 名 教員 3 名 Web 参加 ・ 岩手県看護教員協議会総会 4 月 19 日 〈学生総数〉 3 月 31 日現在 在籍者 107 名 退学者 0 名 休学者 3 名
(II) 公益活動及び 地域支援活動 報告	① 「ふれあいランド祭」(1 年生) 9 月 1 日 ② 障がい者スポーツ大会運営ボランティア (2 年生) 6 月 1 日 ③ ナイチンゲール祭ボランティア活動(施設慰問・環境整備) 9 月 20 日 ・ 和敬荘,中津川 HP,三田記念 HP 等 10 ヶ所施設慰問し贈呈品を持参 ・ 校内・体育館・学校周辺の道路清掃などを実施 ④ 関係団体への派遣協力 ・ 岩手県看護教員協議会副会長 ・ 日本看護学校協議会岩手県代表 ・ 日本看護学校協議会岩手県代表 ・ 岩手県看護協会ナースセンター事業運営委員 ・ 岩手県看護協会職能集会シンポジスト ・ 岩手県看護教員協議会情報交換委員会委員 ・ 岩手県看護実習指導者講習会演習プロンプター 9/5 9/6 9/11 ・ 日本看護学校協議会共済会代議員
(III) 各種報告	〈行事等の実施〉 ① 入学式：4 月 5 日 入学生 29 名

	入学式後の保護者会には 28 名参加 ② 新入生オリエンテーション実施 4 月 8 日～11 日 ③ 戴帽式：10 月 11 日 戴帽生 29 名 ④ 第 114 回看護師国家試験：令和 7 年 2 月 16 日 34 名受験 全員合格 合格率 100%（全国平均 90.1% うち新卒 95.9%） ⑤ 卒業式：令和 7 年 3 月 5 日 卒業生 34 名 〈令和 7 年度入学選考試験〉 ① 総合型選抜：令和 6 年 9 月 21 日（土）志願者 19 名 合格者 16 名 ② 学校推薦型選抜 指定校制：令和 6 年 11 月 9 日（土）志願者 3 名 合格者 3 名 ③ 学校推薦型選抜 公募制：令和 6 年 11 月 9 日（土）志願者 12 名 合格者 10 名 ④ 社会人入学試験 1 期：令和 6 年 11 月 9 日（土）志願者 1 名 合格者 1 名 ⑤ 社会人入学試験 2 期～4 期：志願者なし ⑥ 一般入学試験 1 期：令和 6 年 12 月 7 日（土）志願者 16 名 合格者 11 名 ⑦ 一般入学試験 2 期：令和 7 年 1 月 8 日（水）志願者 13 名 合格者 11 名 ⑧ 一般入学試験 3 期：令和 7 年 2 月 15 日（土）志願者 4 名 合格者 3 名 <u>合格者 総合型 16 名 推薦 13 名 一般 23 名 社会人 1 名</u> <u>入学者 41 名（定員 40 名）</u> 〈調査・統計等報告〉 ① 私立専修学校の入学者及び卒業者に関する調査（岩手県私学振興会） ② 学校基本調査・学校施設調査（WEB 報告岩手県） ③ 学校一覧調査（岩手県私学振興会） ④ 看護師等学校養成所入学・卒業生就業状況調査（医療政策室・厚生労働省） ⑤ 保健師助産師看護師法施行令 14 条第 1 項の規定等に基づく報告 ⑥ 私立専修学校実態調査 〈各種補助金等申請〉 ① 令和 6 年度看護師等運営費補助金 補助額 18,193,000 円 ② 令和 6 年度看護師等運営費補助金 価格高騰対応 補助額 3,000 円 ③ 令和 6 年度看護師等運営費補助金 看護師等養成所施設設備整備事業 補助額 10,670,000 円（総事業費のうち半額補助） 〈各種届出申請〉 ① 学納金の変更に係る学則の変更承認申請 ② 実習施設変更承認申請 ③ 修学支援制度機関要件確認申請 ④ 修学支援制度機関要件に係る 確認取り消し猶予申請 〈その他〉 ① 文集「砂丘」第 65 号発行 ② 看護職員修学資金貸付手続（岩手県保健福祉部医療政策室）
--	--

	新規貸付者 4名 継続 8名 完了者 3名 ③ 日本学生支援機構 機関要件確認申請 ④ 修学支援制度 適用学生申請 ⑤ 私立専修学校専門課程授業料等減免補助金 ⑥ 岩手県看護実習指導者講習会 受講料補助 e-ラーニング受講者 14名 補助額 492,800円 特定分野受講者へのテキスト代補助 3名 補助額 15,000円 ⑦ 岩手県看護研修学会参加 3年生 教員 ⑧ 看護師養成所の指定基準に係る実地調査 11月26日 〈学則変更〉 ① 学則変更承認申請 令和6年4月1日付 学納金の変更による修正 学内組織の名称変更に伴う修正 ② 学則変更承認申請 カリキュラム変更に伴う学則変更 令和6年10月1日付 臨床栄養学 1単位から2単位 ③ 実習施設変更承認申請 令和6年8月1日付 (保健師助産師看護師法施行令第13条1項に基づく) ④ 校舎各室の名称及び面積の変更申請令和7年4月1日付 ⑤ 学科名・教育課程の変更に伴う学則変更承認申請 7年4月1日付 本科から看護学科 在宅看護論実習 I・II・III・IVからI・IIと変更 〈施設管理〉 ・ボイラー等法定点検と設備点検 ・バス車内広告 R6.10.1～R7.9.30 岩手県交通最寄り放送広告 ・箱文字撤去 440,000円 ・網戸交換 649,000円 ・LED照明交換工事
--	---

(3) 岩手リハビリテーション学院

項目	学院全体
(I) 総括報告	① 学生確保を目的に「学院見学説明会」を4回、「学科見学説明会」を3回実施し、併せて進学情報提供業者主催の「進学説明会」に複数回参加した。 ② 学生教育充実のため教材教具、機器、図書を購入した。 ③ 学校評価実施規程により自己評価委員会を開催し、教育理念から社会貢献・地域貢献までの各項目の現状および課題・対策について点検・評価を行い、「自己評価報告書」を作成した。 ④ 学校評価実施規程に基づき、外部委員から構成される学校関係者評価委員会において自己評価結果を報告し、指導助言を受けた結果を「学校関係者評価報告書」として作成し、

	「自己評価報告書」と併せて本学ホームページに掲載し公開した。 ⑤ 作業療法学科の授業科目における「講義・実習・演習」の区分を明確にするカリキュラムの変更及び高度専門士（医療専門課程）称号付与についての条文追加等、学則を一部変更した。（令和7年4月1日改正） ⑥ 学校施設の安全維持管理事項として3年計画による外壁改修工事を計画し、2年目として南面を改修した。 ⑦ 暖房用ボイラー設備の経年劣化による故障に対応するため、5年計画で進めてきた寒冷地エアコンへの更新工事が概ね完了した。
--	--

項目	理学療法学科（4年課程）
（Ⅰ） 総括報告	① 学生確保を目的に学科見学説明会を実施した。 ② 学生教育において、学生の質向上を目的として学生指導や授業内容について検討を重ね進めた。 進級状況 1学年：37名中 進級者 35名 進級率 94.5% 2学年：35名中 進級者 34名 進級率 97.1% 3学年：36名中 進級者 35名 進級率 97.2% ③ 臨床実習教育において、実習指導者会議や施設訪問をとおして指導者との連携を図りながら進めた。 ④ 初年度学生の学修意欲を喚起すべく臨床見学を行った。 ⑤ 初年度学生の障がい者理解を促進すべく、障がい者スポーツ大会へ参加した。 ⑥ 学年間の連携を目的に臨床実習セミナー・学年間交流会を実施した。 ⑦ 臨床実習への理解を高めるため、保護者に対する説明会を実施した。 ⑧ 臨床実習教育の充実を図るため、臨床実習指導者講習会を開催した。 ⑨ 学生の就職活動において、学生や求人施設の情報収集及び提供並びに就職説明会を行った。 就職希望者 37名 就職内定者 37名 就職内定率 100% ⑩ 国家試験合格を目的として、学生の学習促進を図った。 第60回理学療法士国家試験（令和7年2月24日実施） 新卒 37名中 34名合格 合格率 91.9%（全国平均95.2%） 既卒 1名中 1名合格 合格率 100% 全体 38名中 35名合格 合格率 92.1%（全国平均 89.6%） ⑪ 学校教育の質確保のため、外部評価を実施した。
（Ⅱ） 公益活動及び 地域支援活動 報告	① 久慈市立長内中学校の学院見学受入 ② 岩手女子高等学校の学院見学受入 ③ 北上市立江釣子中学校の学院見学受入 ④ 岩手県立久慈東高等学校の学院見学受入 ⑤ 障がい者スポーツ大会へ協力量生派遣 ⑥ 県立みたけ支援学校へ理学療法の指導者派遣（教員1名） ⑦ 社会福祉法人石鳥谷会へ理学療法の指導者派遣（教員1名） ⑧ 盛岡市介護認定審査会へ審査委員派遣（教員1名） ⑨ 医療法人日新堂へ理学療法の指導者派遣（教員2名） ⑩ 医療法人すみれ会へ理学療法の指導者派遣（教員1名） ⑪ 社会福祉法人岩手しいの木会へ理学療法の指導者派遣（教員1名）

	⑫ 有限会社メディカルサービス・ヤスミへ理学療法の指導者派遣（教員 1 名） ⑬ 有限会社ベターライフいわてへ理学療法の指導者派遣（教員 2 名） ⑭ 県事業関連会議へ委員の派遣（県リハビリテーション協議会等）（教員 1 名） ⑮ いわてリハビリテーションセンター評議員会へ委員の派遣（教員 1 名）
(Ⅲ) 各種報告	〈行事の実施〉 ① 入学式：令和 6 年 4 月 11 日実施、入学生 37 名（第 45 回生） ② 健康診断：レントゲン撮影、血液検査、内科健診等を実施 ③ 1 年生の臨地実習臨床教育者会議を実施 ④ 2 年生の地域理学療法導入実習臨床教育者会議を実施 ⑤ 3 年生の評価実習臨床教育者会議、次年度総合実習臨床教育者会議を実施 ⑥ インフルエンザ予防接種、B 型肝炎予防接種を実施 ⑦ 卒業式：令和 7 年 3 月 6 日実施、卒業生 37 名（第 42 回生）、卒業者総数 1,295 名 〈令和 7 年度入学選考試験〉 ① 総合型選抜入学試験（第 1・第 2 日程）：令和 6 年 9 月 7 日、11 月 16 日実施 受験者数 36 名、合格者数 28 名 ② 社会人総合型選抜入学試験（第 1・第 2 日程）：令和 6 年 9 月 7 日、11 月 16 日実施 受験者数 0 名 ③ 推薦入学試験：令和 6 年 10 月 12 日実施 受験者数 22 名、合格者数 11 名 ④ 一般入学試験（前期・後期）：令和 6 年 12 月 7 日、令和 7 年 2 月 1 日実施 受験者数 10 名、合格者数 5 名 総数：受験者数 68 名、合格者数 44 名

項目	作業療法学科（4 年課程）
(Ⅰ) 総括報告	① 学生確保を目的に学科見学説明会を実施した。 ② 個別指導を通して、個々の課題を探りながら学生指導や授業内容について検討を重ね学力向上を図った。 進級状況 1 学年：25 名中 進級者 23 名 進級率 92.0% 2 学年：25 名中 進級者 24 名 進級率 96.0% 3 学年：28 名中 進級者 25 名 進級率 89.3% ③ 臨床実習教育において、指導者と連携し作業療法士としての自覚を図り思考過程の修得を図った。 ④ 学生の就職活動において、学生や求人施設の情報収集及び提供並びに就職説明会を行った。 就職希望者 24 名 就職内定者 24 名 就職内定率 100% ⑤ 国家試験受験合格を目標として、学生の学習促進を図った。 ⑥ 国家試験不合格の既卒学生に対し定期的な指導と学習環境を提供し、学習促進を図った。 第 60 回作業療法士国家試験（令和 7 年 2 月 24 日実施） 新卒 26 名中 25 名合格 合格率 96.2%（全国平均 92.5%） 既卒 3 名中 合格なし 合格率 0.0%

	全体 29名中 25名合格 合格率 86.2% (全国平均 85.8%) ⑦ 学校教育の質確保のため、外部評価を実施した。
(II) 公益活動及び 地域支援活動 報告	① 久慈市立長内中学校の学院見学受入 ② 岩手女子高等学校の学院見学受入 ③ 北上市立江釣子中学校の学院見学受入 ④ 岩手県立久慈東高等学校の学校見学受入 ⑤ 岩手女子高等学校へ「人間工学」の講師派遣 (教員 1 名) ⑥ 盛岡市立ひまわり学園へ「リハビリ相談会」の講師派遣 (教員 1 名) ⑦ 奥州市子ども発達支援センターへ「療育指導会」の講師派遣 (教員 1 名) ⑧ 社会福祉法人石鳥谷会へ作業療法の指導者派遣 (教員 1 名) ⑨ 青山地域包括支援センター認知症サポーター養成講座へ派遣 (教員 3 名) ⑩ 青山地域包括支援センター (盛岡市委託事業) 介護予防教室 (3 回) へ講師派遣 ⑪ みたけ・北厨川地域包括支援センターへ健康教室の講師派遣 ⑫ デイサービスセンター ミューシャングェへ作業療法の指導者派遣 (教員 2 名) ⑬ 善友乳児院へ発達評価の講師派遣 (教員 1 名) ⑭ ながりハ倶楽部 (長田町町内会支援企画) 交流会を実施 打合せ会議: 4 回 (7/1、9/12、11/7、3/17) 交流会: 令和 7 年 3 月 25 日(火) 参加者 48 名
(III) 各種報告	〈行事の実施〉 ① 入学式: 令和 6 年 4 月 11 日実施、入学生 25 名 (第 45 回生) ② 健康診断: レントゲン撮影、血液検査、内科健診等を実施 ③ 4 年生対象の就職説明会を実施 (7 月、10 月) ④ インフルエンザ予防接種、B 型肝炎予防接種を実施 ⑤ 2 年生～4 年生の臨床実習指導者会議を実施 ⑥ 卒業式: 令和 7 年 3 月 6 日実施、卒業生 26 名 (第 42 回生)、卒業者総数 1,074 名 〈令和 7 年度入学選考試験〉 ① 総合型選抜入学試験 (第 1・第 2 日程): 令和 6 年 9 月 7 日、11 月 16 日実施 受験者数 6 名、合格者数 5 名 ② 社会人総合型選抜入学試験 (第 1・第 2 日程): 令和 6 年 9 月 7 日、11 月 16 日実施 受験者数 0 名 ③ 推薦入学試験: 令和 6 年 10 月 12 日実施 受験者数 4 名、合格者数 8 名 (合格者は併願を含む) ④ 一般入学試験 (前期・後期): 令和 6 年 12 月 7 日、令和 7 年 2 月 1 日実施 受験者数 1 名、合格者数 4 名 (合格者は併願を含む) 〈学生キャリアアップの取組み〉 ① 学年毎に卒業生との懇談会を実施 (卒業生のフォローアップ含) 〈保護者等との協力体制の充実〉 ① 学年毎に保護者オリエンテーションを実施 (1 年生・4 年生は対面、2 年生・3 年生はオンラインでの実施) ② 学科通信の発行: 学院内行事などの通信を開始した。

(4) 中津川病院

(I) 総括報告	① 令和6年度は、外来・訪問診療におけるコロナ禍による診療体制への影響は殆どなかったが、入院においては他医療機関においても入院患者の減少のため入院患者の紹介数が少なかった。また、7月と2月には新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により入退院調整の制限があった。外来部門では、6月1日から「訪問看護ステーションなかつがわ」のリハビリテーションスタッフ2名を病院の「訪問リハビリテーション部門」に配置換えを行った。これにより訪問リハビリテーションの件数が前年度より1,266件増加し外来収入の増収に繋がった。また訪問診療件数も前年度より347件増加した。 ② 診療体制について ・ 6月1日から「訪問看護ステーションなかつがわ」のリハビリテーションスタッフ2名を病院の「訪問リハビリテーション部門」に配置換えを行った ・ 室名の変更（南病棟1階）6月1日 変更前）物品庫兼面談室 変更後）訪問リハビリ事務室兼物品庫） ・ 施設基準の変更（令和7年1月1日） 認知症ケア加算3→2に変更 ・ 検体検査精度確保責任者の任命（盛岡市保健所立入検査にて指摘） 2月1日付 鈴木啓二郎（副院長） ③ 医療収入について 医療収入については、入院が3億3,183万円で前年比4,153万円の減収、外来は1億7,342万円で前年比1,059万円の増収となった。入院は、患者数は減少したが、1人1日平均単価は増加となった。外来においては一般外来・訪問リハビリテーション・訪問診療とも増加となり外来収入全体では前年度を上回った。 ④ 令和6年度特殊建築物定期検査で指摘された設備の改修について 検査実施 9月13日（三衡設計舎） 調査で指摘された設備の改修工事日 2月8日 指摘内容 非常照明不良のため交換15台 ⑤ 施設設備関係 ・ エレベーター制御盤改修工事 4,788,000円（3年ローンにより支払い） 設置から37年間経過しており、部品供給が出来ないため、12月に制御盤の改修工事を行った。 ・ 栄養科管理システムハード更新 1,914,000円（5年リースにより支払い） 本システムは、平成28年4月に導入したが、修理部品の調達が困難のため9月にハードの更新を行なった。 ⑥ 行政機関による指導及び調査について 東北厚生局岩手事務所による適時調査（4月19日） 盛岡市保健所による病院立入検査（11月7日） ⑦ ストレスチェックの実施について 労働安全衛生法の一部改正に伴い、職員の心の健康状態の調査が義務化（職員50人以上の事業所）されたことにより、国が標準とする簡易調査票を用いてストレスチェックを10月21日から10月31日に実施（受検率82.0%）。 ⑧ 補助金等の決定状況について ・ 岩手県社会福祉施設および医療施設等物価高騰対策支援給付金：1,016,000円 ・ 医療機関食材料費高騰対
---------------------	--

	策支援金：163,200 円 ・在宅医療推進設備整備費補助金（輸液ポンプ、シリンジポンプ各 1 台）：149,000 円		
(II) 患者報告	〈入院関係〉 ① 入院患者数（1 日平均） ② 病床利用率 ③ 平均在院日数 〈外来関係〉 ① 外来患者数（1 日平均） ② 訪問診療 ③ 訪問リハビリ	令和 6 年度 27.7 人 54.3% 24.6 日 26.4 人 4,590 件 3,284 件	前年比 －4.0 人 －7.8% －0.1 日 ＋2.5 人 ＋347 件 ＋1,266 件
(III) 公益活動及び 地域支援活動 報告	① 岩手看護専門学校臨地実習受入れ ② 岩手リハビリテーション学院臨床実習受入れ ③ 盛岡市医師会附属准看護学院実習受入れ ④ 看護学生の奉仕活動受入れ（岩手看護専門学校ナイチンゲール祭） ⑤ 岩手リハビリテーション学院、岩手県立大学非常勤講師委嘱（高橋院長） ⑥ 岩手医科大学、岩手女子高等学校（看護科専攻科）非常勤講師委嘱（鈴木副院長） ⑦ 岩手看護専門学校（本科）非常勤講師（松長根看護師） ⑧ 岩手看護専門学校（本科）非常勤講師（村上看護師） ⑨ 岩手県福祉総合センター重度障がい者意思伝達装置評価支援派遣（工藤リハビリテーション科主任） ⑩ グループホーム浅岸静福園運営推進委員委嘱（高田事務係長） ⑪ 小規模多機能ホームやちだもの家つつじが丘運営推進委員嘱託（地域医療連携室：菊池准看護師）		

(5) 訪問看護ステーションなかつがわ

(I) 総括報告	① 令和 6 年 4 月に看護師 1 名採用、1 名病棟からの異動にて、常勤看護師 6 名、臨時看護師 1 名、リハビリスタッフ 2 名、事務員 1 名の計 10 名の配置で運営を開始した。 令和 6 年度診療報酬の改定により、訪問看護リハビリの報酬が引き下げられ、長期的にみても徐々に減算となる事を目論み、6 月からリハビリスタッフ 2 名が中津川病院の訪問リハビリ事業へ異動となり、訪問看護スタッフ計 8 名での運営となった。このことから、1 件当たりの単価が上がった。上半期は、新任看護師の同行が多かったが、下半期は単独訪問が可能となり訪問件数の増加につながった。 ② グループホームの医療連携契約施設は、全部で 3 施設（45 名）の利用者の健康観察など、看護師の訪問ニーズに対応しているが、施設での看取りも増加した。 ③ 学生指導実習や、看護学校への講師派遣、地域の看護師への教育を通じながら看護の質をあげることができた。 ④ 訪問看護師が看護管理者の研修(ファーストレベル研修)を受講したことで、医療機関、訪問看護等の地域における今後のニーズを知ることができ看護管理者としての教育の必要性を実感した。又、専門性の高い看護師の育成についての必要性も学び得ながら、看護の質の向上に努めている。 ⑤ 感染症や災害、虐待防止、身体的拘束への対応力強化の業務継続計画を作成し、より職員の身近に触れるようなシミュレーション等も工夫しながら行った。 ⑥ 訪問看護の新規依頼は途切れることなく、短期でも看取りの看護のニーズは増えてお
-------------	--

	り、職員の教育にも力を入れている。 ⑦ 補助金等の決定状況について ・岩手県社会福祉施設および医療施設等物価高騰対策支援給付金：30,000 円 ・オンライン資格確認等導入に係る補助金：429,000 円 ・人材開発支援助成金：89,300 円
(II) 患者報告	① 利用者数 令和 6 年度 1 日平均前年比 医療保険訪問看護件数 1,841 件 (1 日平均 5.0 件) +0.5 件 介護保険訪問看護件数 1,594 件 (1 日平均 4.4 件) -2.8 件 認定看護師による訪問看護における管理加算算定回数 (緩和ケア) 15 回 ② 在宅看取り 13 件 (前年比 -7 件)
(III) 公益活動及び 地域支援活動 報告	① 岩手看護専門学校、岩手保健医療大学の実習受け入れ(実習指導者を育成) ② 岩手看護専門学校本科非常勤講師 (佐藤管理者) ③ 盛岡医療大学校看護学科非常勤講師 (佐藤管理者、柴田看護師) ④ 岩手県立大学非常勤講師 (佐藤管理者) ⑤ 岩手県訪問看護基礎研修講師 (佐藤管理者) ⑥ 令和 6 年度いわてイーハトーブ臨床研修病院群 ACP セミナーファシリテーターなど (佐藤管理者) ⑦ 岩手県学術研究会 基調講演シンポジスト (佐藤管理者)

(6) 居宅介護支援事業所なかつがわ

(Ⅰ) 総括報告	① 本事業所は令和2年6月1日に設置し、介護支援専門員（ケアマネージャー）1名体制でケアマネージャーの付いていない患者の要介護認定の申請等の業務を行ってきた。令和6年4月より1名増員となったことで、更なる利用者獲得に努めた。 ② 介護保険収入等 介護保険事業所全体の収入は785万円、うち介護保険742万円、予防43万円、昨年比+212万円であった。 認定調査収入は49件、147,000円、昨年比 +57,000円であった。 ③ 補助金等の決定状況について ・岩手県社会福祉施設および医療施設等物価高騰対策支援給付金：30,000円																																																																						
(Ⅱ) 患者報告	① 利用者数 <table><thead><tr><th></th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>前年度比</th></tr></thead><tbody><tr><td>要支援1</td><td>8</td><td>22</td><td>21</td><td>53</td><td>35</td><td>－18</td></tr><tr><td>要支援2</td><td>0</td><td>3</td><td>22</td><td>13</td><td>55</td><td>＋42</td></tr><tr><td>合 計</td><td>8</td><td>25</td><td>43</td><td>66</td><td>90</td><td>＋24</td></tr></tbody></table> <table><tbody><tr><td>要介護1</td><td>4</td><td>49</td><td>84</td><td>80</td><td>130</td><td>＋50</td></tr><tr><td>要介護2</td><td>36</td><td>137</td><td>130</td><td>206</td><td>208</td><td>＋2</td></tr><tr><td>要介護3</td><td>30</td><td>56</td><td>65</td><td>92</td><td>111</td><td>＋19</td></tr><tr><td>要介護4</td><td>14</td><td>39</td><td>34</td><td>48</td><td>93</td><td>＋45</td></tr><tr><td>要介護5</td><td>19</td><td>67</td><td>71</td><td>46</td><td>40</td><td>－6</td></tr><tr><td>合 計</td><td>103</td><td>348</td><td>384</td><td>472</td><td>582</td><td>＋110</td></tr></tbody></table>		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	要支援1	8	22	21	53	35	－18	要支援2	0	3	22	13	55	＋42	合 計	8	25	43	66	90	＋24	要介護1	4	49	84	80	130	＋50	要介護2	36	137	130	206	208	＋2	要介護3	30	56	65	92	111	＋19	要介護4	14	39	34	48	93	＋45	要介護5	19	67	71	46	40	－6	合 計	103	348	384	472	582	＋110
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比																																																																	
要支援1	8	22	21	53	35	－18																																																																	
要支援2	0	3	22	13	55	＋42																																																																	
合 計	8	25	43	66	90	＋24																																																																	
要介護1	4	49	84	80	130	＋50																																																																	
要介護2	36	137	130	206	208	＋2																																																																	
要介護3	30	56	65	92	111	＋19																																																																	
要介護4	14	39	34	48	93	＋45																																																																	
要介護5	19	67	71	46	40	－6																																																																	
合 計	103	348	384	472	582	＋110																																																																	
(Ⅲ)	① 地域包括支援センターとの委託契約 4件 ・五月園地域包括支援センター ・浅岸和敬荘地域包括支援センター																																																																						

公益活動及び 地域支援活動 報告	・松園・緑が丘地域包括支援センター ・仁王・上田地域包括支援センター
------------------------	---

(7) 三田記念病院

(I) 総括報告	① 医療収入について 【令和 6 年度の医療収入】 入院収入は 13 億 740 万円で前年比 4,503 万円の減収、外来収入は 1 億 2,127 万円で前年比 338 万円の減収、全体では 14 億 4,654 万円で前年比 4,808 万円の減収となり、前年度を下回る結果となった。 入院患者の減少（死亡退院の増加）により入院収入が大きく減少している。 外来については、患者数はほぼ横ばいである。 ② 「地域移行機能強化病棟」導入の中止について 令和 6 年 4 月以降に予定をしていた「地域移行機能強化病棟」の算定開始について、導入準備段階中に複数回の新型コロナウイルス感染症が病棟で発生し、その都度実施の延期を余儀なくされている間に、高齢の入院患者の死亡退院が続き入院患者が減少し続け、止む無く導入の実施を断念せざるを得なくなった。 ③ 病棟再編に係るコンサルタント会社との契約について 全国的に入院患者の減少が続き、今後、少子化による医療従事者の減少も懸念される中、三田記念病院の病棟体制の在り方を検討するため、10 月に“総合メディカル社”にコンサルタントを依頼し、4 カ月間にわたり調査・検討を行った。 結果、今後も患者数の減少と働き手の減少が続くことは避けられず、診療報酬の大幅な増収が期待できないことから、病院をコンパクト（病床削減）にして、高い病床稼働率を維持しながら、新たな診療報酬を開拓して増収を図る方針とした。 具体的には、262 床の病床数から 226 床へ 36 床減少とし、患者確保が難しい急性期治療病棟を 15 対 1 一般病棟に変更して病床の稼働率を上昇させること、また、増収策として、新たにデータ提出加算の算定を検討することや C T 検査の回数を増やすこと等の取り組みを行うこととした。 ④ 「医療施設等経営強化緊急支援事業」（厚生労働省）に係る“病床数適正化支援事業”への参加について 国は、効率的な医療提供体制の確保を図るため、病床数の適正化を進める医療機関に対し令和 6 年度補正予算を用いて給付金を交付することとした。 支給額については、都道府県が実施主体となり、削減した病床 1 床当たり 4,104,000 円が支給されることとされた。 当院では病床を 36 床削減予定であり、当該給付金を受給できるよう調整を図ることとした。 ⑤ 行政機関による指導及び調査について ・盛岡市保健所による病院立ち入り検査（令和 6 年 8 月） 書類審査、院内巡視の後、講評が行われ特に指摘事項は無かった。 ・岩手県県央保健所による精神科病院実地指導及び実地審査（令和 6 年 10 月） 盛岡市保健所の立入検査と同様に特に大きな指摘事項もなく終了した。 ・東北厚生局による適時調査（令和 7 年 2 月） 栄養科の責任者が栄養士ではなく調理師となっていたことで、診療報酬の返還が発生
-------------	--

	予定。 ⑥ CT 装置の故障 平成 24 年から 13 年間使用していた CT 装置が故障し、代替部品が調達できず使用不能となった。 ⑦ LED 工事の施工（令和 6 年 4 月） 令和 9 年に、現在の蛍光管の製造が中止となることに伴い、病院の照明器具の大部分を LED に交換する工事を実施した。 ⑧ 中津川病院との統合検討について 患者数が減少し効率的な病院運営が求められる中、中津川病院と統合しお互いの病院の強みを十分発揮できる体制を構築することにより、地域に根差した診療体制を構築し併せて増収を図りたいことから、法人本部が新たに取り組む施策（「経営改善対策室」の設置）に協力を行っていく。 ⑨ 補助金等の決定状況について ・精神科救急医療体制整備事業補助金：848,700 円 ・岩手県社会福祉施設および医療施設等物価高騰対策支援給付金：4,392,000 円 ・医療機関食材料費高騰対策支援金：838,400 円 ・マイナ保険証促進・利用のための利用勧奨に係る助成金：100,000 円 ・人材開発支援助成金：89,300 円																											
(Ⅱ) 患者報告	<table><tr><td>〈入院関係〉</td><td>令和 6 年度</td><td>前年度比</td></tr><tr><td>① 入院患者数（1 日平均）</td><td>219.7 人</td><td>－11.3 人</td></tr><tr><td>② 病床利用率</td><td>83.8%</td><td>－4.1%</td></tr><tr><td>③ 平均在院日数</td><td>300.3 日</td><td>－16.1 日</td></tr><tr><td>④ 作業療法件数（1 日平均）</td><td>151.9 件</td><td>－7.7 件</td></tr><tr><td>〈外来関係〉</td><td></td><td></td></tr><tr><td>① 外来患者数（1 日平均）</td><td>75.1 人</td><td>－1.6 人</td></tr><tr><td>② デイケア件数（1 日平均）</td><td>22.6 件</td><td>－1.8 件</td></tr><tr><td colspan="3">（ショートケア含む）</td></tr></table>	〈入院関係〉	令和 6 年度	前年度比	① 入院患者数（1 日平均）	219.7 人	－11.3 人	② 病床利用率	83.8%	－4.1%	③ 平均在院日数	300.3 日	－16.1 日	④ 作業療法件数（1 日平均）	151.9 件	－7.7 件	〈外来関係〉			① 外来患者数（1 日平均）	75.1 人	－1.6 人	② デイケア件数（1 日平均）	22.6 件	－1.8 件	（ショートケア含む）		
〈入院関係〉	令和 6 年度	前年度比																										
① 入院患者数（1 日平均）	219.7 人	－11.3 人																										
② 病床利用率	83.8%	－4.1%																										
③ 平均在院日数	300.3 日	－16.1 日																										
④ 作業療法件数（1 日平均）	151.9 件	－7.7 件																										
〈外来関係〉																												
① 外来患者数（1 日平均）	75.1 人	－1.6 人																										
② デイケア件数（1 日平均）	22.6 件	－1.8 件																										
（ショートケア含む）																												
(Ⅲ) 公益活動及び 地域支援活動 報告	① 看護実習生 170 名の受入れ （内訳：岩手看護専門学校 38 名、岩手医科大学 79 名、岩手女子高等学校 10 名、岩手県立大学 18 名、盛岡医師会附属盛岡看護学院 25 名） ② 作業療法実習生 9 名の受入れ（岩手リハビリテーション学院 4 名、弘前医療福祉大学 3 名、東北文化学園大学 1 名、山形医療技術専門学校 1 名） ③ 精神保健福祉援助実習生 2 名の受入れ（岩手県立大学 2 名） ④ 地域精神医療活動、地域精神保健福祉活動への支援 ⑤ 岩手県医療審査会へ委員派遣 ⑥ 日本精神科看護協会岩手県支部副支部長並びに教育委員、事務局要員として看護師を派遣																											

(8) こころの訪問看護ステーション三田

(I) 総括報告	① 医療収入 令和 6 年度の医療収入は 11,020 万円となり、前年度比 40 万円の減収となった。訪問 1 件あたりの平均単価は 15,971 円で前年度比 103.4 円の減収となった。新規利用者の受け入れは 38 人であり前年度比 5 人増加し、訪問件数は 6,903 件となり前年度比 22
-------------	--

	件増加となった。新規訪問依頼における作業療法導入のニーズが高く、作業療法件数も増加した。診療報酬の改定により既存の算定項目が増収し、新設のベースアップ評価料を算定したことや24時間対応体制における看護職員の負担軽減を行い、高単価の算定が可能となる体制を整備したことが増収の要因となった。また、関係機関から信頼され選ばれるステーションとなるため、連携を丁寧に行い利用者の増加に努めた。 ② 訪問看護の質の向上 原則 2 名の職員による訪問体制を継続した。看護職、作業療法士、精神保健福祉士による多職種で訪問することで、精神症状の適切な評価や安心して日常生活が営めるよう支援を行い、利用者や支援者のニーズに応じた訪問看護や作業療法の提供に努めた。職能団体の研修に積極的に参加し、資質の維持向上に努めた。24 時間電話対応を看護職以外の職員が対応できるよう整備し、利用者に安心していただける訪問看護を実践した。 ③ 業務の効率化、人材の確保 遠方に在住する職員 2 名の在宅勤務を継続した。在宅勤務者は主に医療請求に関連する業務や報告書、市町村宛情報提供書の書類作成を担い、書類作成においては業務全体の 9 割以上を行った。業務を分担することで、看護職等が訪問業務に専念し、看護計画の立案が円滑に行えたほか、レセプト請求時における事務負担軽減に繋がった。在宅勤務時は朝と夕方に Zoom でミーティングに参加し、毎週 1~2 日はステーションに出勤して情報共有を図った。 新規依頼による訪問件数増加や、診療報酬改定による業務増加に対応するため、臨時職看護師を 2 名、総合職看護師を 1 名採用した。 ④ 診療報酬に係る規程の整備 令和 6 年度から感染対策委員会、虐待防止委員会の開催と研修、業務継続計画（BCP）の策定と訓練が義務化となり対応した。虐待防止に関する指針、感染症対策指針や感染症対策マニュアルの確認を行った。 ⑤ 補助金等の決定状況について ・岩手県社会福祉施設および医療施設等物価高騰対策支援給付金：30,000 円 ・介護ロボット等支援事業補助金：1,529,000 円 ・オンライン資格確認等導入に係る補助金：429,000 円																																																								
(Ⅱ) 訪問状況及び療養費稼働額報告	<table><tr><th colspan="2">令和 6 年度</th><th colspan="2">前年比</th></tr><tr><td>① 訪問実人数</td><td>2,025 人（1 月平均 168.7 人）</td><td colspan="2">-7 人</td></tr><tr><td>② 訪問延件数</td><td>6,903 件（1 日平均 28.5 件）</td><td colspan="2">+22 件（1 日平均+0.2 件）</td></tr><tr><td>内）作業療法件数</td><td>2,210 件（1 日平均 9.1 件）</td><td colspan="2">+228 件（1 日平均+1 件）</td></tr><tr><td>③ 療養費</td><td>110,204,356 円（平均単価 15,971 円）</td><td colspan="2">-403,767 円（平均単価-103.4 円）</td></tr></table> 新規訪問依頼の医療機関内訳 <table><tr><th>医療機関名</th><th>三田記念</th><th>岩手医大</th><th>盛岡市立</th><th>都南病院</th><th>県立中央</th><th>県立療育センター</th><th>岩本クリニック</th><th>盛岡心クリニック</th><th>盛岡北クリニック</th><th>盛岡観山荘</th><th>合 計</th></tr><tr><td>人 数</td><td>16 人</td><td>6 人</td><td>5 人</td><td>8 人</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>1 人</td><td>1 人</td><td>1 人</td><td>38 人</td></tr><tr><td>前年比</td><td>-3 人</td><td>+3 人</td><td>+2 人</td><td>+6 人</td><td>-1 人</td><td>-1 人</td><td>-1 人</td><td>±0 人</td><td>-1 人</td><td>+1 人</td><td>+5 人</td></tr></table>	令和 6 年度		前年比		① 訪問実人数	2,025 人（1 月平均 168.7 人）	-7 人		② 訪問延件数	6,903 件（1 日平均 28.5 件）	+22 件（1 日平均+0.2 件）		内）作業療法件数	2,210 件（1 日平均 9.1 件）	+228 件（1 日平均+1 件）		③ 療養費	110,204,356 円（平均単価 15,971 円）	-403,767 円（平均単価-103.4 円）		医療機関名	三田記念	岩手医大	盛岡市立	都南病院	県立中央	県立療育センター	岩本クリニック	盛岡心クリニック	盛岡北クリニック	盛岡観山荘	合 計	人 数	16 人	6 人	5 人	8 人	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人	1 人	38 人	前年比	-3 人	+3 人	+2 人	+6 人	-1 人	-1 人	-1 人	±0 人	-1 人	+1 人	+5 人
令和 6 年度		前年比																																																							
① 訪問実人数	2,025 人（1 月平均 168.7 人）	-7 人																																																							
② 訪問延件数	6,903 件（1 日平均 28.5 件）	+22 件（1 日平均+0.2 件）																																																							
内）作業療法件数	2,210 件（1 日平均 9.1 件）	+228 件（1 日平均+1 件）																																																							
③ 療養費	110,204,356 円（平均単価 15,971 円）	-403,767 円（平均単価-103.4 円）																																																							
医療機関名	三田記念	岩手医大	盛岡市立	都南病院	県立中央	県立療育センター	岩本クリニック	盛岡心クリニック	盛岡北クリニック	盛岡観山荘	合 計																																														
人 数	16 人	6 人	5 人	8 人	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人	1 人	38 人																																														
前年比	-3 人	+3 人	+2 人	+6 人	-1 人	-1 人	-1 人	±0 人	-1 人	+1 人	+5 人																																														
(Ⅲ) 公益活動及び地域支援活動報告	① 実習生、研修生受け入れ状況 岩手看護専門学校本科実習生 4 名（在宅看護論実習 8~9 月） 岩手医科大学看護学部実習生 4 名（精神看護学統合実習 9 月） 岩手医科大学看護学部実習生 30 名（精神看護学領域実習 10~12 月） 岩手県立大学看護学部実習生 3 名（地域看護学 6 月） ② 講師等職員派遣状況 日本精神科看護協会岩手県支部「精神科看護研究発表会」																																																								

	岩手県訪問看護ステーション協議会「精神科訪問看護研修会」 成年後見センターもりおか「盛岡地域市民後見人養成講座」 岩手医科大学看護学部「精神看護学演習講義」 ③ 研修会参加状況 令和 6 年度安全運転管理者等講習会 日本精神科看護協会各種研修会 岩手県看護協会各種研修会
--	--

(9) 加賀野の里

(I) 総括報告	① 入居者数について（年度末） 19 名/20 名（退去者 3 名、入居者 3 名） 1 年間の平均利用者数は 17.2 名 平均利用者数が前年度の 18.1 名に比べて少なくなった原因として、長期入院者が多かった事、また、退去者が 3 名に対し、新規入居も 3 名であったが、入居に至るまでの期間が数か月続くことが多く、平均利用者数が減少した。 ② 令和 6 年度障害福祉サービス基準改定について 障害特性に対する合理的配慮、感染委員会、虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、感染対応および災害対応 BCP 訓練、感染予防研修、サービス担当者会議、が義務化となり、実施しなければ減算となるため、滞りなく実施した。 ④ 補助金等の決定状況について ・岩手県社会福祉施設および医療施設等物価高騰対策支援給付金：200,000 円 ・盛岡市障害者入居施設等食材料費物価高騰対策給付金：290,299 円
(II) 各種報告	① 家族へお便り発送（10 月） ② 運営会議の実施（偶数月） ③ 顧問医診察の実施（偶数月） ④ 委員会の開催 ・虐待防止委員会（年 1 回）・身体拘束適正化委員会（年 1 回） ・感染対策委員会（年 4 回） ⑤ 研修会、訓練 内部：虐待防止に係る研修会・感染予防研修会および訓練・ハラスメント防止研修・身体拘束適正化に係る研修会・AED 研修・災害 BCP 研修および訓練 外部：世話人研修・感染症対策研修・サービス管理責任者更新研修 ⑥ 避難訓練（6 月）、喫煙者吸い殻処理練習（3 月） ⑦ 食事アンケート（2 月） ⑧ 実地指導（12 月） ⑨ 行事、貢献活動 体育館でバレー（6 月）、地域のゴミ拾い（11 月）、クリスマス会（12 月） 誕生日リクエストメニュー

4. 職員数、学生数、患者数等（令和7年3月31日現在）

(1) 職員数

年度別	令和6年度			令和5年度			差異		
性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全職員数	145	208	353	149	208	357	△4	0	△4
済生会本部	4	3	7	3	3	6	1	0	1
岩手看護専門学校	3	15	18	4	17	21	△1	△2	△3
岩手リハビリテーション学院	11	10	21	12	7	19	△1	3	2
中津川病院	24	45	69	24	45	69	0	0	0
訪看なかつがわ	1	7	8	2	6	8	△1	1	0
居宅なかつがわ	0	2	2	0	1	1	0	1	1
三田記念病院	95	105	200	97	110	207	△2	△5	△7
訪看三田	5	14	19	5	12	17	0	2	2
加賀野の里	2	7	9	2	7	9	0	0	0

(2) 学生数

年度別	令和6年度			令和5年度			差異		
性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計
岩手看護専門学校 本科	11	96	107	10	104	114	1	△8	△7
計	11	96	107	10	104	114	1	△8	△7
岩手リハビリテーション学院									
理学療法学科	84	58	142	78	68	146	6	△10	△4
作業療法学科	44	57	101	49	60	109	△5	△3	△8
計	128	115	243	127	128	255	1	△13	△12
学生数合計	139	211	350	137	232	369	2	△21	△19

(参考) 令和7年4月1日現在の学生数

1. 看護学校

	1年	2年	3年	計	総定員
本科	42	32	40	114	120

2. リハビリ学院

	1年	2年	3年	4年	計	総定員
理学療法学科	40	35	34	35	144	160
作業療法学科	16	24	26	25	91	140

(3) 患者数

	延患者数		差異	一日平均		差異
	令和6年度	令和5年度		令和6年度	令和5年度	
中津川病院						
入院患者	10,094	11,581	△ 1,487	27.7	31.7	△ 4.0
外来患者	6,380	5,812	568	26.4	23.9	2.5
三田記念病院						
入院患者	80,179	84,326	△ 4,147	219.7	231.0	△ 11.3
外来患者	18,179	18,641	△ 462	75.1	76.7	△ 1.6
入院合計	90,273	95,907	△ 5,634	247.4	262.7	△ 15.3
外来合計	24,559	24,453	106	101.5	100.6	0.9

(4) 入居者数

	令和6年度	令和5年度	差異
加賀野の里	19	19	0